

令和元年度 歯と口腔の健康づくりの取り組み

八千代市では「八千代市市民の歯と口腔の健康づくり推進条例」を平成24年6月に制定し、生涯にわたる市民の健康の保持増進のために、次の3つの歯と口腔の健康づくりに関する取り組みを推進しています。



1. 歯と口腔の健康づくりに関する普及啓発

歯科健康診査・歯科保健指導・歯科健康教育等における情報提供

むし歯予防のための歯みがき剤の使用や、歯周病予防などの情報提供を実施しました。(表1)

表1 歯科健康診査・歯科健康教育等の実績

令和2年3月末現在

時期	種類*	事業名	情報提供の内容	実施回数	参加者数
妊娠期	①	妊婦歯科健康診査	健診結果に基づく歯科保健指導	☆	418人
	②	プレママ教室	妊婦と家族のむし歯予防・歯周病予防方法	9回	133人
乳児期	②	4か月児赤ちゃん広場	歯が生える頃の手入れ方法	114回	1,066人
		10か月児赤ちゃん広場	歯ブラシの選び方・フッ素入り歯みがき剤使用他	107回	1,039人
幼児期	①	1歳6か月児歯科健康診査	歯みがき・おやつ摂り方・フッ素活用他	28回	1,138人
		2歳6か月児歯科健康診査	歯みがき・おやつ摂り方・フッ素活用他	16回	461人
		3歳児歯科健康診査	健診結果に基づく歯科保健指導	☆	1,155人
		児童発達支援センター歯科健診	健診結果に基づく歯科保健指導	4回	80人
	②③	小さく生まれたお子さんの交流と相談の広場	歯みがき・おやつ摂り方・フッ素活用他	1回	18人
	②	まちづくりふれあい講座【幼児期】	歯みがき・おやつ摂り方・フッ素活用他	7回	136人
	②	児童発達支援センター母親学級	仕上げみがきの方法など	1回	21人
学童期	②	保育園・幼稚園歯みがき教育	歯みがき・フッ素入り歯みがき剤使用方法	84回	2,641人
		まちづくりふれあい講座【学童保育】	歯みがき・おやつ・フッ素活用他	14回	437人
妊娠期～学童期	③	歯科相談（電話・来所・家庭訪問）	歯と口腔の状態に応じたお手入れ方法他	67回	67回
成人期・高齢期	①	成人歯科健康診査健診【40歳以上】	健診結果に基づく歯科保健指導	☆	2,308人
	②	歯科医師による健康教育	歯周病予防方法・口腔の機能低下を防ぐ方法他	2回	67人
		歯科衛生士による健康教育【まちづくりふれあい講座含む】	歯周病予防方法・舌やだ液が出やすくなる体操他	11回	162人
	③	はばたき職業センター歯科相談	歯と口腔の状態に応じたお手入れ方法他	1回	26人
③	歯科相談（電話・来所・家庭訪問）	歯と口腔の状態に応じたお手入れ方法他	19回	19人	

※種類（事業内容別） ①歯科健康診査 ②歯科健康教育 ③歯科健康相談

☆印は、個別歯科健康診査のため、委託歯科医療機関にて実施。

2. 定期的な予防管理の推進

妊婦・幼児・成人・在宅訪問歯科健康診査を実施し、受診を促すとともに、かかりつけ歯科医づくりや定期受診の重要性を伝えました。（歯科健康診査実施実績は、前項の表 1 の種類①を参照。）

3. 歯と口腔の健康づくりのための仕組みづくり

関係機関・団体等との連携・協力体制を整え、歯と口腔の健康づくりのための仕組みづくりを行うために、「八千代市歯と口腔の健康づくり推進会議」を平成 25 年度に設置しました。

ライフステージ毎の課題に対応するため「八千代市歯と口腔の健康づくり推進会議全体会」の他、年代に分けた「部会」を開催し、歯と口腔の健康づくりに取り組みました。

「母子部会」では、保護者の意識を高める効果的なアプローチ方法について意見交換を行いました。

「成人高齢者部会」では、歯科からのメタボ対策をテーマに特定健康診査の問診の結果から成人期の早食いの現状を把握し、ナッジ(nudge)理論※を基に早食い改善方法を検討しました。また、高齢期の口腔機能低下（オーラルフレイル）の予防改善方法として、ガム噛みトレーニングを体験し、正しい咀嚼方法を身につける効果があることを体感したほか、ガム噛みトレーニングを継続する方法を検討しました。



※nudge: (訳) ひじで軽く突く。
対象者に選択の余地を残しながら
より良い方向に誘導する手法

歯と口腔の健康づくり推進会議
全体会の様子

表2 八千代市歯と口腔の健康づくり推進会議の開催状況

種類	開催日	内容
全体会	令和元年 9 月 19 日	これまでの取り組みと今後の活動予定、所属における歯科保健の取り組み報告
成人高齢者部会	令和元年 12 月 12 日	成人高齢者歯科保健事業報告、メタボ対策として早食い改善方法を検討 オーラルフレイル予防としてガム噛みトレーニングの継続方法を検討
母子部会	令和 2 年 1 月 29 日	母子歯科保健事業報告、保護者の意識を高めるアプローチ方法について